

# 京 都 華 頂 大 学 学 則

## 第1章 総則

### (目的)

- 第1条 本大学は仏教精神に基づき教育基本法及び学校教育法の趣旨にのっとり、広い教養を基盤として、深く専門の学芸を教授研究し、国家社会の福祉に貢献しうる心身共に健全なる女子を育成することを目的とする。
- 2 本学の設置する学部・学科における人材の養成に関する目的その他の教育研究の目的については、別に定める。
- 3 前2項の目的を達成するため、本学における教育研究活動等の状況について、本学において自ら不断に点検および評価をおこない、その教育研究水準の向上を図るものとする。
- 4 前項の点検・評価をおこなう組織・項目など、実施に必要な体制については、別に定める。

## 第2章 学部・学科・学生定員及び修業年限

### (学部・学科及び学生定員)

第2条 本学に設置する学科及びその学生定員は次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員	編入学定員	収容定員
現代家政学部	現代家政学科 生活学専攻 児童学専攻	80人	—	320人
	食物栄養学科	60人		240人

- 2 現代家政学科児童学専攻（入学定員50名）に幼稚園教諭及び小学校教諭の教職課程を置く。この教職課程に関する規程は、別に定める。
- 3 現代家政学科に中学校教諭及び高校教諭の教職課程を置く。この教職課程に関する規程は、別に定める。
- 4 現代家政学科に保育士養成課程を置く。この養成課程に関する規程は、別に定める。
- 5 食物栄養学科に栄養教諭の教職課程を置く。この教職課程に関する規程は、別に定める。
- 6 食物栄養学科に管理栄養士養成課程及び栄養士養成課程を置く。この養成課程に関する規程は、別に定める。

### (修業年限及び在学年限)

第3条 本学の修業年限は4年とする。ただし在学期間は8年を超えてはならない。

## 第3章 学年・学期・授業日数及び休業日

### (学年)

第4条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

### (学期)

第5条 学年を分けて次の2期とする。

春学期 4月1日から9月30日まで

秋学期 10月1日から3月31日まで

- 2 春学期・秋学期の期間は、年度により若干の変更をすることがある。

### (授業日数)

第6条 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを原則とする。

- 2 各授業科目の授業は、15週にわたる期間を単位として行うものとする。ただし、教育上特別の必

要があると認められる場合は、これらの期間より短い特定の期間において授業を行う。

(休業日)

第7条 本学における休業日を次のとおり定める。

- (1) 日曜日
- (2) 「国民の祝日に関する法律」に規定する日
- (3) 創立記念日 10月10日
- (4) 春季休業 3月15日から3月31日まで
- (5) 夏季休業 8月1日から9月16日まで
- (6) 冬季休業 12月25日から1月8日まで

2 必要がある場合、学長は前項の休業日を臨時に変更することができる。

3 第1項に定めるもののほか、学長は臨時の休業日を定めることができる。

4 必要がある場合、学長は第1項に定める休業日においても、授業、実習及び行事を行うことができる。

#### 第4章 入学・退学・転学及び休学

(入学の時期)

第8条 入学の時期は毎学年の始めとする。

(入学資格)

第9条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する女子とする。

- (1) 高等学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む）又は監督庁の定めるところにより、これと同等以上の学力があると認められた者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年1月31日文部科学省令第1号）により文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (7) 相当の年齢に達し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学が認めた者

(入学の出願)

第10条 本学に入学を志願する者は、本学所定の書類に入学検定料を添えて提出しなければならない。

2 提出の時期、方法、同時に提出すべき書類等については、別に定める。

(入学者の選考)

第11条 前条の入学志願者については、別に定めるところにより、選抜試験を実施し、合否の判定は教授会の議を経て学長が行う。

(入学手続き及び入学許可)

第12条 本学に入学を許可された者は、指定の期間内に入学金その他の学費及び本学の指定する書類を提出しなければならない。

2 前項の手続きを怠った者には入学許可を取り消すことがある。

第13条 本学に転学を願い出た者については、欠員のある場合に限り選考のうえ入学を許可することがある。

(編入学)

第14条 本学に編入学を希望する者は選考の上これを許可することがある。

2 前項に関する規程は、別に定める。

3 編入学を志願できる者は、次の各号の一に該当する者とする。

(1) 短期大学を卒業した者及び卒業見込みの者

(2) 大学に2年以上在学して62単位以上修得した者及び修得見込みの者

(保証人)

第15条 入学を許可された者は、保護者1名（保護者なき者はこれに代わる親戚その他）を保証人と定め本学の指定する期間内に届け出なければならない。

第16条 保証人は学生の在学中の一切の事項について責任をもつものとする。

第17条 保証人が変更したとき、転居したときは直ちに届け出なければならない。

(退学及び転学)

第18条 退学しようとする者は、その事由を詳記し、保証人連署のうえ学長に願い出て、その許可を得なければならない。

2 他の大学等への転学を希望する者は、保証人連署のうえ学長に願い出て、その許可を得なければならない。

(転学科)

第19条 在籍する学科から他の学科に転学科を願い出た者は、選考のうえ許可することがある。

2 転学科に関する規程については、別に定める。

(休学)

第20条 疾病その他やむを得ない事情により5週以上修学することのできない者は、保証人連署のうえ休学を願い出ることができる。疾病による場合は、医師の診断書を添付しなければならない。

(休学の期間)

第21条 休学の期間は、1年を超えることはできない。ただし特別の事由があると認められた者にあつては、引き続きさらに1年、通算4年までは延長することができる。

2 休学の期間は在学年数に算入しない。

(復学)

第22条 休学期間満了のときまたは休学期間であつても、その事由が消滅したときは、学長の許可を得て復学することができる。

(除籍)

第23条 次の各号の一に該当する者は、教授会の議を経て学長が除籍する。

(1) 第3条に規定する在学年限を超えた者

(2) 授業料その他の学費の納付を怠り督促してもなお納付しない者

(3) 第21条に定める休学期間を超えて、なお修学できない者

(4) 死亡または2年以上にわたり行方不明の者

## 第5章 教育課程及び履修方法等

(授業科目)

第24条 本学の教育課程は、総合科目・基本科目・発展科目として別表第一のとおりとする。

第25条 本学において開設する授業科目はこれを必修及び選択科目にわけらる。

(履修登録及び登録の上限)

第26条 学生は、毎学期度の当初に履修する授業科目を登録しなければならない。また学生は、登録した授業科目以外の授業科目を履修し、修得することはできない。

2 1年間における履修登録単位数の上限を48単位とする。

3 1年間における履修登録単位数については、前項の定めにかかわらず学生の成績状況に応じて、特別に52単位を上限とすることができるものとする。必要な規定については、別に定める。

(単位)

第27条 各授業科目の単位数を定めるにあたっては、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算する。

(1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

(2) 実験・実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。ただし、芸術等の分野における個人指導による実技の授業については、本学が定める時間の授業をもって1単位とすることができる。

(3) 前各号に規定する授業の方法のうち2以上の併用により行う場合の単位数の基準については、これらに規定する基準を考慮し、本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文等の授業科目については、これらの学修とその学修の成果を考慮して単位数を定める。

(授業内容及び方法の改善)

第28条 本学において開設する授業科目の授業の内容及び方法の改善を図るために、自ら組織的に研修及び研究を実施する。

2 前項の目的を達成するため必要な実施体制等については、別に定める。

(学修の評価)

第29条 各授業科目を履修した者には、試験を実施して学修の成果を評価する。

2 第27条第1項3号の授業科目については、本学の定める方法により学修の成果を評価する。

(試験)

第30条 試験の方法は、筆記試験やレポートのほか、各授業科目の授業の方法に応じた方法によるものとし、その方法は各授業科目の担当者がこれを定める。

2 試験の時期は、原則として学期末とする。ただし各授業科目の担当者が必要と認めるときは、臨時に行うことができる。

3 病気等やむをえない事情により、学期末の試験を受けられなかった者は、追試験を受けることができる。

4 試験に関する規程は、別に定める。

第31条 当該授業科目の履修について学期当初に登録していない者は、試験を受けることはできない。

(単位の授与)

第32条 学修の評価は原則として100点を満点とする素点で表し、60点以上を合格として、単位を授与する。

(入学前の既修得単位の取り扱い)

第33条 教育上有益と認めるときは、入学前の大学又は短期大学において修得した単位（第53条の規定により、修得した単位を含む。）を本学における授業科目の修得とみなし、単位を認定することができる。

2 前項により、本学が修得したものとみなすことができる単位数は、編入学、転入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第34条第1項及び第2項並びに第35条第1項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

3 前2項の単位認定の取り扱いについては、別に定める。

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第34条 教育上有益と認める時は、他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得し

た単位を、60単位を超えない範囲で、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定は、学生が外国の大学又は短期大学に留学する場合に準用する。この場合において、本学が修得したものとみなすことができる単位数は、前項及び次条第2項の単位数と合わせて、60単位を超えないものとする。

3 前2項の単位認定の取り扱いについては、別に定める。

(大学又は短期大学以外の教育施設等における学修)

第35条 教育上有益と認めるときは、他の短期大学又は高等専門学校の特攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を認定することができる。

2 前項により与えることができる単位数は、60単位を超えないものとする。

3 前2項の単位認定の取り扱いについては、別に定める。

## 第6章 卒業及び資格の取得

(卒業の要件)

第36条 本学を卒業するためには、学生は4年以上在学し、別表第一に定めるところにより、下記にしたがって合計124単位以上を修得しなければならない。

(1) 総合科目 6 単位

(2) 基本科目 1 8 単位

(3) 発展科目 1 0 0 単位

但し、学部基幹科目 8 単位

学部必修科目 1 4 単位

(卒業)

第37条 本学に4年以上在学し第36条に定める単位を修得した者については、教授会の議を経て、学長は卒業を認定する。

2 前項の規定により卒業した者には、次の通り学士の学位を授与する。学位授与に関する規程については別に定める。

現代家政学部現代家政学科 学士(家政学)

現代家政学部食物栄養学科 学士(家政学)

(資格の取得)

第38条 本学の学部・学科において取得できる資格・課程及び免許の種類は次のとおりとする。

学部・学科	取得できる資格・課程及び免許
現代家政学部 現代家政学科	高等学校教諭1種免許状(家庭) 中学校教諭1種免許状(家庭) 小学校教諭1種免許状 幼稚園教諭1種免許状 保育士資格 図書館司書資格 上級ビジネス実務士 社会教育主事任用資格 社会調査士 フードスペシャリスト資格
現代家政学部 食物栄養学科	栄養教諭1種免許状 管理栄養士国家試験受験資格 栄養士資格

第39条 本学現代家政学科及び食物栄養学科の学生にして教育職員免許状を得ようとする者は、第36条に規定する卒業の要件を充足し、かつ教育職員免許法及び同法施行規則に定める科目及び単位を別表第二のとおり修得しなければならない。

第40条 現代家政学科保育士養成課程の学生にして児童福祉法による保育士資格を得ようとする者は、第36条に定める卒業の要件を充足し、かつ児童福祉法施行規則に定める科目及び単位を別表第三のとおり修得しなければならない。

2 現代家政学科図書館司書養成課程の学生にして図書館司書資格を得ようとする者は、第36条に定める卒業の要件を充足し、かつ図書館法及び図書館法施行規則に定める単位を別表第四のとおり修得しなければならない。

3 現代家政学科に別表第五のとおり日本教育カウンセラー協会による教育カウンセラー支援科目を開設する。

4 現代家政学科の学生にして全国大学実務教育協会による上級ビジネス実務士資格を得ようとする者は、第36条に定める卒業の要件を充足し、かつ全国大学実務教育協会に定める科目及び単位を別表第六のとおり修得しなければならない。

5 現代家政学科の学生にして社会教育主事任用資格を得ようとする者は第36条に定める卒業の要件を充足し、かつ文部科学省令で定める社会教育に関する科目を別表第七のとおり修得しなければならない。

6 現代家政学科の学生にして社会調査協会による社会調査士資格を得ようとする者は、第36条に定める卒業の要件を充足し、かつ社会調査協会に定める科目及び単位を別表第八のとおり修得しなければならない。

7 現代家政学科の学生にして日本フードスペシャリスト協会によるフードスペシャリスト資格を得ようとする者は、第36条に定める卒業の要件を充足し、かつ日本フードスペシャリスト協会に定める科目及び単位を別表第九のとおり修得しなければならない。

8 現代家政学科に別表第十のとおり日本産業協会による消費生活アドバイザー支援科目を開設する。

9 食物栄養学科の学生にして栄養士法による管理栄養士国家試験受験資格を得ようとする者は、第36条に定める卒業の要件を充足し、かつ管理栄養士学校指定規則に定める科目及び単位を別表第十一のとおり修得しなければならない。

10 食物栄養学科の学生にして栄養士法による栄養士資格を得ようとする者は、第36条に定める卒業の要件を充足し、かつ栄養士法施行規則に定める科目及び単位を別表第十二のとおり修得しなければならない。

## 第7章 検定料・入学金・授業料・その他の費用

(検定料等の金額)

第41条 本学の検定料・入学金・授業料等の金額は次のとおりとする。

現代家政学科

検定料	35,000円	授業料	940,000円
-----	---------	-----	----------

入学金	200,000円	施設設備資金	200,000円
-----	----------	--------	----------

食物栄養学科

検定料	35,000円	授業料	940,000円
-----	---------	-----	----------

入学金	200,000円	施設設備資金	240,000円
-----	----------	--------	----------

2 前項所定の費用のほか、実験実習費その他教育に必要な費用を徴収することがある。

3 学費納入に必要な手続き等については、別に定める。

(授業料の納入期)

第42条 授業料・施設設備資金は次のとおり納入しなければならない。ただし、特別の事情があると認められる者は、延納を認めることがある。

現代家政学科

春学期	授業料	470,000円	納期	4月30日
-----	-----	----------	----	-------

	施設設備資金	200,000円	納期	4月30日
--	--------	----------	----	-------

秋学期	授業料	470,000円	納期	9月30日
-----	-----	----------	----	-------

## 食物栄養学科

春学期	授業料	470,000円	納期	4月30日
	施設設備資金	240,000円	納期	4月30日
秋学期	授業料	470,000円	納期	9月30日

(退学等の場合の授業料等)

第43条 退学もしくは転学した者、除籍された者、退学を命ぜられた者、または停学中の者、及び学年の途中で卒業する者は、当該学期の授業料・施設設備資金等全額を納入しなければならない。

(休学等の場合の授業料等)

第44条 休学した者については、休学期間中の授業料・施設設備資金等は徴収しない。ただし復学した者は、当該学年の当該学期分を納めなければならない。

(納付した授業料等)

第45条 既納の入学金・授業料等納入金は、還付しない。

## 第8章 職員組織

(職員組織)

第46条 本学に、学長及びその他の職員を置く。

- (1) 教授、准教授、講師、助教(教職員)
- (2) 副学長又は学部長を置くことができる。
- (3) 部長、課長、及びその他の職員(事務職員等)

2 本学に、前項各号の他、必要な職員を置くことができる。

3 職員の服務規程は、別に定める。

## 第9章 教授会及び大学評議会

(教授会)

第47条 本学に教授会を置く。

第48条 教授会は、学長及び教授・准教授・講師をもって組織する。

第49条 学長は教授会を招集しその議長となる。ただし学長に事故あるときは、あらかじめ学長が指名した教授が議長となる。

2 学長は教授会の構成員の3分の1以上から議題を示し、要求があった場合には、教授会を招集しなければならない。

第50条 教授会は、構成員の3分の2以上の出席がなければ開催することができない。

(教授会の審議事項)

第51条 教授会においては、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

- (1) 学生の入学、卒業及び課程の修了に関する事項
- (2) 学生の学位授与に関する事項
- (3) 学生の学修評価に関する事項
- (4) 教育課程及び授業に関する事項
- (5) 学生の身分の取扱いの規程に関する事項
- (6) 教員の教育研究業績審査に関する事項
- (7) 前6号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聞くことが必要なものとして学長が定める事項

第52条 教職員の候補者の選考、昇格に関する事項については、資格審査委員会及び人事教授会において必要な審査を行う。同各委員会の規程は、別に定める。

(大学評議会)

第53条 本学の運営に関する重要な事項を審議するために大学評議会を設ける。

2 大学評議会は学長がこれを招集し、次の事項について審議する。

- (1) 大学全体の基本的な事項
- (2) 学則及び学内諸規定の改正に関する事項
- (3) 学部・学科等教育組織の設置・廃止・改編に関する事項
- (4) 事務局組織・附属施設等の設置・廃止・改編に関する事項
- (5) 学長からの諮問事項に関する事項
- (6) 教職員・事務職員の人事計画に関する事項
- (7) 大学の中・長期的な展望に関する事項
- (8) 予算案の編成に関する事項
- (9) 学長選任に関する事項
- (10) 名誉教授の授与に関する事項
- (11) 大学の自己点検・評価に関する事項
- (12) その他、大学運営に重要と判断される事項

3 大学評議会の構成員および運営については、別に定める。

#### 第10章 科目等履修生及び外国人学生

(科目等履修生)

第54条 本学の学生以外で、一又は複数の授業科目の履修を希望する者があるときは、当該科目の授業に支障がない限りにおいて、選考の上、科目等履修生として、入学を許可する。

2 科目等履修生の取り扱いについては、別に定める。

(外国人学生)

第55条 外国人で本学に入学を希望する者は、選考のうえ入学を許可する。

#### 第11章 長期履修学生

(長期履修学生)

第56条 第3条の規定にかかわらず、修業年限を超える一定の期間にわたり、授業科目を履修することを目的として、本学に入学を志願する者があるときは、選考のうえ、長期履修学生として入学を許可する。

2 長期履修学生に関しての必要な事項は、別に定める。

#### 第12章 賞罰

(表彰)

第57条 学生として表彰に値する行為があった者には、教授会の議を経て学長が表彰する。

(罰則)

第58条 本学の学則に違反し、また本学の学生としての本分に反する行為をした者は、教授会の議を経て学長が懲戒する。懲戒は、退学・停学及び訓告とする。また退学は次の各号の一に該当する学生に対して行う。

- (1) 性行不良で、改善の見込みがないと認められる者
- (2) 学力劣等で、成業の見込みがないと認められる者
- (3) 正当な理由がなくて出席常でない者
- (4) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

## 第13章 公開講座

(公開講座)

第59条 本学において必要があると認めるときは、公開講座を設けることがある。

## 第14章 附属施設及び附属機関

(附属施設及び附属機関)

第60条 本学に附属施設及び附属機関をおく。

- (1) 附属図書館
- (2) 教育開発センター
- (3) 現代家政学研究所
- (4) 地域発展活性化センター
- (5) 学生参画運営センター

2 前項附属施設及び附属機関に関する規程については、別に定める。

## 第15章 学寮及び厚生補導施設

(学寮)

第61条 本学に学寮を置く。学寮に関し必要な事項は、別に定める。

(厚生補導施設)

第62条 本学に厚生補導のための施設として、健康相談室・学生相談室・食堂等を置く。

(規程の改廃)

第63条 この規程の改廃は、理事会の承認を得なければならない。

附 則

この学則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成28年4月1日から施行する。ただし平成27年度以前入学の学生については、本改正にかかわらず、なお、従前の学則による。

2 学則第2条に規定する学生定員は、次のとおりとする。

学部・ 学科等	年度	平成27年度			平成28年度		
		入学 定員	3年次 編入学 定員	収容 定員	入学 定員	3年次 編入学 定員	収容 定員
現代家政学部 現代家政学科		95人	10人	400人	80人	—	385人
現代家政学部 食物栄養学科		—人	—人	—人	60人	—	60人
合 計		95人	10人	400人	140人	—	445人

附 則

この学則は、平成30年4月1日から施行する。ただし平成29年度以前入学の学生については、本改正にかかわらず、なお、従前の学則による。

2 学則第2条に規定する学生定員は、次のとおりとする。

学部・ 学科等	平成29年度			学部・ 学科等	平成30年度		
	入学 定員	3年次 編入学 定員	収容 定員		入学 定員	3年次 編入学 定員	収容 定員
現代家政学部 現代家政学科	80人	—	370人	現代家政学部 現代家政学科 生活学専攻 児童学専攻	80人	—	345人
現代家政学部 食物栄養学科	60人	—	120人	現代家政学部 食物栄養学科	60人	—	180人
合 計	140人	—	490人	合 計	140人	—	525人

別表第一(第24条関係)

総合科目(6単位)

区分	授業科目	単位		備考
		必修	選択	
総合科目	ブツダの教え	2		
	法然上人の思想と生涯	2		
	総合基礎演習Ⅰ	1		
	総合基礎演習Ⅱ	1		

基本科目(18単位)

区分	授業科目	単位		備考	
		必修	選択		
基本科目	必修科目	英語Ⅰ	1		
		英語Ⅱ	1		
		英語コミュニケーションⅠ	1		
		英語コミュニケーションⅡ	1		
		健康スポーツ科学Ⅰ	1		
		健康スポーツ科学Ⅱ	1		
		人権と社会	2		
		情報処理	2		
	選択科目	日本語表現法		2	
		いのちの科学		2	
		こころの科学		2	
		自然科学Ⅰ(生物)		2	
		自然科学Ⅱ(化学)		2	
		くらしと法律(日本国憲法)		2	
		社会学概論		2	
		消費者教育		2	
		世界の経済		2	
		ジェンダー論		2	
		国際理解		2	
		京都の歴史		2	
		日本の文学		2	
		TOEICⅠ		1	
		TOEICⅡ		1	
		中国語Ⅰ		1	
		中国語Ⅱ		1	
		ハングルⅠ		1	
		ハングルⅡ		1	
産官学連携実践Ⅰ		2			
産官学連携実践Ⅱ		2			
健康スポーツ科学Ⅲ		1			

別表第一

発展科目(100単位)

現代家政学部現代家政学科

区分	授業科目	単位		備考		
		必修	選択			
基学 幹 科 目 部	現代家政学論Ⅰ	2				
	現代家政学論Ⅱ	2				
	生活構造論	2				
	ライフデザイン論	2				
学部 必修 科目	現代家政学演習Ⅰ	2				
	現代家政学演習Ⅱ	2				
	キャリア教育	2				
	文献講読	2				
	卒業演習(論文を含む。)	6				
学	生活 基礎 の 理 解	未来につながる生活学		2		
		衣生活論		2		
		衣生活実習		2		
		食生活論		2		
		食生活実習Ⅰ		1		
		食生活実習Ⅱ		1		
		室内デザイン実習		2		
		住空間とインテリア実習		2		
		住生活論		2		
		家族 ・ 家 庭 の 理 解	子どもと生活		2	
			家族関係論		2	
			家族社会学		2	
			比較家族論		2	
			生活経営学		2	
			家庭経済学		2	
	社会 の 理 解	消費科学		2		
		アパレルと流通		2		
		生活とメディア		2		
		循環型社会論		2		
		労働法		2		
		都市と景観		2		
		男女共同参画社会論		2		
		比較文化論		2		
		多文化共生論		2		
		社会調査の基礎		2		
		統計学の基礎		2		
		消費者調査法		2		
		子育て支援論		2		
		人間福祉論		2		
	ボランティア論		2			
	生活学 専 攻 科 目	服飾と社会		2		
		ファッション論		2		
		食の科学Ⅰ(調理学)		2		
		食の科学Ⅱ(食品学)		2		
		食文化		2		
和食学			2			
和食調理学実習			2			
住居文化			2			
カラーコーディネート論			2			
栄養学			2			
ライフステージ栄養学			2			
健康マネジメント			2			
社会福祉行政			2			
地域福祉論			2			
介護学			2			

科 選 択 科 目	専 門 科 目 群	経営学総論	2
		現代企業論	2
		情報ネットワーク論	2
		統計学Ⅰ	2
		ライフスタイルと法	2
	児 童 学 専 攻 科 目	子どもと運動	2
		幼児理解	2
		保育内容(健康)	2
		保育内容(造形表現)	2
		保育内容(人間関係)	2
		保育内容(音楽表現)	2
		保育内容(環境)	2
		保育内容(言葉)	2
		教育原理(幼・小)	2
		教育心理学(幼・小)	2
		発達心理学(幼・小)	2
		教育制度論(幼・小)	2
		教育方法論(幼・小)	2
		教育の方法と技術(幼・小)	2
		教育相談(幼・小)	2
	関 連 科 目 群	音楽の基礎(ピアノ・歌)	2
		国語教育(書写を含む)	2
		社会科教育	2
		算数教育	2
		理科教育	2
		家庭科教育	2
		音楽Ⅰ	2
		音楽Ⅱ	2
		図画工作Ⅰ	2
		図画工作Ⅱ	2
		子どもの英語活動	2
		道徳教育論(小)	2
		生徒指導論(小)	2
保育原理Ⅰ		2	
保育原理Ⅱ		2	
児童福祉論		2	
養護原理		2	
小児保健Ⅰ		2	
小児保健Ⅱ		2	
子どもの食と栄養		2	
乳児保育		2	
障害児保育		2	
児童文化論		2	
家庭工学演習		2	
情報処理論		2	
生涯学習論		2	
道徳教育論(家庭)		2	
教育原理(家庭・栄養)		2	
教育心理学(家庭・栄養)		2	
発達心理学(家庭・栄養)		2	
教育制度論(家庭・栄養)		2	
教育方法論(家庭・栄養)		2	
教育の方法と技術(家庭・栄養)		2	
生徒指導論(家庭・栄養)	2		
教育相談(家庭・栄養)	2		

別表第一  
 発展科目(100単位)  
 現代家政学部食物栄養学科

区分	授業科目	単位		備考	
		必修	選択		
基学 幹 科目部	現代家政学論Ⅰ	2			
	現代家政学論Ⅱ	2			
	生活構造論	2			
	ライフデザイン論	2			
学部必修科目	現代家政学演習Ⅰ	2			
	現代家政学演習Ⅱ	2			
	キャリアア教育	2			
	文献講読	2			
	卒業演習(論文を含む。)	6			
学科 選 択 科 目	生活科目群	家族関係論	2		
		衣生活論	2		
		衣生活実習	2		
		カラーコーディネート論	2		
		家庭経済学	2		
		生活経営学	2		
		住生活論	2		
		食生活論	2		
	管理栄養士 専門分野	社会・環境と 健康	公衆衛生学	2	
			健康管理論	2	
			健康栄養概論	2	
		人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	解剖・生理学Ⅰ	2	
			解剖・生理学Ⅱ	2	
			解剖・生理学実験	1	
			生化学	2	
			生化学実験	1	
			栄養生化学	2	
			栄養生化学実験	1	
			病理病態学Ⅰ	2	
			病理病態学Ⅱ	2	
			微生物学	2	
			微生物学実験	1	
		食べ物と健康	調理学	2	
			調理学実習Ⅰ	1	
			調理学実験Ⅰ	1	
			調理学実習Ⅱ	1	
			食品学Ⅰ	2	
			食品学Ⅱ	2	
食品学実験Ⅰ			1		
食品学実験Ⅱ			1		
食品衛生学			2		
食品衛生学実験			1		
基礎・応用栄養学		基礎栄養学	2		
		基礎栄養学実験	1		
		応用栄養学Ⅰ	2		
		応用栄養学Ⅱ	2		
	応用栄養学Ⅲ	2			
栄養教育論	応用栄養学実習	1			
	栄養教育論Ⅰ	2			
	栄養教育論Ⅱ	2			
	栄養教育論実習Ⅰ	1			
	栄養教育論Ⅲ	2			
臨床栄養学	栄養教育論実習Ⅱ	1			
	臨床栄養学Ⅰ	2			
	臨床栄養学Ⅱ	2			
	臨床栄養学実習Ⅰ	1			
	臨床栄養学Ⅲ	2			
公衆栄養学	臨床栄養学Ⅳ	2			
	臨床栄養学実習Ⅱ	1			
	公衆栄養学Ⅰ	2			
給食経営 管理論	公衆栄養学Ⅱ	2			
	公衆栄養学実習	1			
	給食経営管理論Ⅰ	2			
	給食経営管理論Ⅱ	2			
	給食経営管理実習	1			

## 別表第二

〔高等学校教諭一種免許状(家庭)〕

### イ. 教科に関する科目

授業科目	単位		備考
	必修	選択	
生活経営学	2		
家族関係論	2		
家庭経済学	2		
衣生活論	2		
衣生活実習	2		
栄養学	2		
食の科学Ⅰ(調理学)	2		
食の科学Ⅱ(食品学)	2		
食生活実習Ⅰ	1		
食生活実習Ⅱ	1		
住生活論	2		
室内デザイン実習	2		
保育原理Ⅰ	2		
家庭工学演習	2		
情報処理論	2		

### ロ. 教科又は教職に関する科目

授業科目	単位		備考
	必修	選択	
人権と社会	2		
道徳教育論(家庭)	2		
「教科に関する科目」「教職に関する科目」 の最低基準超過分をあてる	12		

### ハ. 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

授業科目	単位		備考
	必修	選択	
くらしと法律(日本国憲法)	2		
健康スポーツ科学Ⅰ	1		
健康スポーツ科学Ⅱ	1		
英語コミュニケーションⅠ	1		
英語コミュニケーションⅡ	1		
情報処理	2		

### ニ. 教職に関する科目

授業科目	単位		備考
	必修	選択	
教職論(家庭・栄養)	2		
教育原理(家庭・栄養)	2		
教育心理学(家庭・栄養)	2		
発達心理学(家庭・栄養)	2		
教育制度論(家庭・栄養)	2		
教育課程総論(家庭・栄養)	2		
中等教科教育法Ⅰ(家庭)	2		
中等教科教育法Ⅱ(家庭)	2		
中等教科教育法Ⅲ(家庭)	2		
中等教科教育法Ⅳ(家庭)		2	
特別活動(家庭)	2		
教育方法論(家庭・栄養)	2		
教育の方法と技術(家庭・栄養)	2		
生徒指導論(家庭・栄養)	2		
教育相談(家庭・栄養)	2		
教育実習事前・事後指導(家庭)	1		
教育実習Ⅰ(家庭)	2		
教職実践演習(家庭)	2		

## 別表第二

〔中学校教諭一種免許状(家庭)〕

### イ. 教科に関する科目

授業科目	単位		備考
	必修	選択	
生活経営学	2		
家族関係論	2		
家庭経済学	2		
衣生活論	2		
衣生活実習	2		
栄養学	2		
食の科学Ⅰ(調理学)	2		
食の科学Ⅱ(食品学)	2		
食生活実習Ⅰ	1		
食生活実習Ⅱ	1		
住生活論	2		
室内デザイン実習	2		
保育原理Ⅰ	2		

### ロ. 教科又は教職に関する科目

授業科目	単位		備考
	必修	選択	
人権と社会	2		
「教科に関する科目」「教職に関する科目」の最低基準超過分をあてる	6		

### ハ. 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

授業科目	単位		備考
	必修	選択	
くらしと法律(日本国憲法)	2		
健康スポーツ科学Ⅰ	1		
健康スポーツ科学Ⅱ	1		
英語コミュニケーションⅠ	1		
英語コミュニケーションⅡ	1		
情報処理	2		

### ニ. 教職に関する科目

授業科目	単位		備考
	必修	選択	
教職論(家庭・栄養)	2		
教育原理(家庭・栄養)	2		
教育心理学(家庭・栄養)	2		
発達心理学(家庭・栄養)	2		
教育制度論(家庭・栄養)	2		
教育課程総論(家庭・栄養)	2		
中等教科教育法Ⅰ(家庭)	2		
中等教科教育法Ⅱ(家庭)	2		
中等教科教育法Ⅲ(家庭)	2		
中等教科教育法Ⅳ(家庭)		2	
道徳教育論(家庭)	2		
特別活動(家庭)	2		
教育方法論(家庭・栄養)	2		
教育の方法と技術(家庭・栄養)	2		
生徒指導論(家庭・栄養)	2		
教育相談(家庭・栄養)	2		
教育実習事前・事後指導(家庭)	1		
教育実習Ⅰ(家庭)	2		
教育実習Ⅱ(家庭)	2		
教職実践演習(家庭)	2		

## 別表第二

〔小学校教諭一種免許状〕

### イ. 教科に関する科目

授業科目	単位		備考
	必修	選択	
国語教育(書写を含む。)	2		
社会科教育	2		
算数教育	2		
理科教育	2		
子どもと生活	2		
音楽Ⅰ	2		
音楽Ⅱ	2		
音楽Ⅲ		2	
音楽Ⅳ		2	
図画工作Ⅰ	2		
図画工作Ⅱ	2		
家庭科教育	2		
子どもと運動	2		

### ロ. 教科又は教職に関する科目

授業科目	単位		備考
	必修	選択	
人権と社会	2		
子どもの英語活動	2		
「教科に関する科目」「教職に関する科目」の最低基準超過分をあてる	6		

### ハ. 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

授業科目	単位		備考
	必修	選択	
くらしと法律(日本国憲法)	2		
健康スポーツ科学Ⅰ	1		
健康スポーツ科学Ⅱ	1		
英語コミュニケーションⅠ	1		
英語コミュニケーションⅡ	1		
情報処理	2		

### ニ. 教職に関する科目

授業科目	単位		備考
	必修	選択	
教職論(幼・小)	2		
教育原理(幼・小)	2		
教育心理学(幼・小)	2		
発達心理学(幼・小)	2		
教育制度論(幼・小)	2		
教育課程総論(幼・小)	2		
初等科教育法(国語)	2		
初等科教育法(社会)	2		
初等科教育法(算数)	2		
初等科教育法(理科)	2		
初等科教育法(生活)	2		
初等科教育法(音楽)	2		
初等科教育法(図画工作)	2		
初等科教育法(家庭)	2		
初等科教育法(体育)	2		
道徳教育論(小)	2		
特別活動(小)	2		
教育方法論(幼・小)	2		
教育の方法と技術(幼・小)	2		
生徒指導論(小)	2		
教育相談(幼・小)	2		
教育実習事前・事後指導(幼・小)	1		
教育実習Ⅰ(幼・小)	2		
教育実習Ⅱ(幼・小)	2		
教職実践演習(幼・小)	2		

別表第二

〔幼稚園教諭一種免許状〕

イ. 教科に関する科目

授業科目	単位		備考
	必修	選択	
国語教育(書写を含む。)	2		
算数教育		2	
子どもと生活	2		
音楽Ⅰ	2		
音楽Ⅱ	2		
音楽Ⅲ	2		
音楽Ⅳ	2		
図画工作Ⅰ	2		
図画工作Ⅱ	2		
子どもと運動	2		

ロ. 教科又は教職に関する科目

授業科目	単位		備考
	必修	選択	
人権と社会	2		
「教科に関する科目」「教職に関する科目」の最低基準超過分をあてる	8		

ハ. 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

授業科目	単位		備考
	必修	選択	
くらしと法律(日本国憲法)	2		
健康スポーツ科学Ⅰ	1		
健康スポーツ科学Ⅱ	1		
英語コミュニケーションⅠ	1		
英語コミュニケーションⅡ	1		
情報処理	2		

ニ. 教職に関する科目

授業科目	単位		備考
	必修	選択	
教職論(幼・小)	2		
教育原理(幼・小)	2		
教育心理学(幼・小)	2		
発達心理学(幼・小)	2		
教育制度論(幼・小)	2		
教育課程総論(幼・小)	2		
保育内容(健康)	2		
保育内容(人間関係)	2		
保育内容(環境)	2		
保育内容(言葉)	2		
保育内容(音楽表現)	2		
保育内容(造形表現)	2		
教育方法論(幼・小)	2		
教育の方法と技術(幼・小)	2		
幼児理解(幼・小)	2		
教育相談(幼・小)	2		
教育実習事前・事後指導(幼・小)	1		
教育実習Ⅰ(幼・小)	2		
教育実習Ⅱ(幼・小)	2		
教職実践演習(幼・小)	2		

## 別表第二

〔栄養教諭一種免許状〕

### イ. 栄養に係る教育に関する科目

授業科目	単位		備考
	必修	選択	
学校栄養教育概論	2		
学校栄養教育指導論	2		

### ロ. 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

授業科目	単位		備考
	必修	選択	
くらしと法律(日本国憲法)	2		
健康スポーツ科学Ⅰ	1		
健康スポーツ科学Ⅱ	1		
英語コミュニケーションⅠ	1		
英語コミュニケーションⅡ	1		
情報処理	2		

### ハ. 教職に関する科目

授業科目	単位		備考
	必修	選択	
教職論(家庭・栄養)	2		
教育原理(家庭・栄養)	2		
教育心理学(家庭・栄養)	2		
発達心理学(家庭・栄養)	2		
教育制度論(家庭・栄養)	2		
教育課程総論(家庭・栄養)	2		
特別活動(道徳を含む。)	2		
教育方法論(家庭・栄養)	2		
教育の方法と技術(家庭・栄養)	2		
生徒指導論(家庭・栄養)	2		
教育相談(家庭・栄養)	2		
栄養教育実習事前・事後指導	1		
栄養教育実習	2		
教職実践演習(栄養教諭)	2		

## 別表第三

〔保育士資格〕

### イ. 必修科目

授業科目	単位		備考
	必修	選択	
保育原理Ⅰ	2		
教育原理(幼・小)	2		
児童福祉論	2		
人間福祉論	2		
相談援助	1		
養護原理	2		
保育者論	2		
保育の心理学Ⅰ	2		
保育の心理学Ⅱ	2		
小児保健Ⅰ	2		
小児保健Ⅱ	2		
小児保健実習	1		
子どもの食と栄養	2		
子育て支援論	2		
教育課程総論(幼・小)	2		
保育原理Ⅱ	2		
保育内容(健康)	2		
保育内容(人間関係)	2		
保育内容(環境)	2		
保育内容(言葉)	2		

保育内容(音楽表現)	2		
保育内容(造形表現)	2		
乳児保育	2		
障害児保育	2		
養護内容	2		
教育相談(幼・小)	2		
音楽Ⅰ	2		
音楽Ⅱ	2		
図画工作Ⅰ	2		
子どもと運動	2		
保育実習Ⅰ(施設)	2		
保育実習Ⅰ(保育所)	2		
保育実習指導Ⅰ	2		
総合演習	2		

ロ. 選択必修科目9単位以上(うち保育実習及び保育実習指導3単位以上)

授業科目	単位		備考
	必修	選択	
家族社会学		2	
家族関係論		2	
幼児理解		2	
教育方法論(幼・小)		2	
児童文化論		2	
音楽Ⅲ		2	
音楽Ⅳ		2	
図画工作Ⅱ		2	
保育実習Ⅱ		2	
保育実習Ⅲ		2	
保育実習指導Ⅱ		1	
保育実習指導Ⅲ		1	

#### 別表第四

〔図書館司書資格〕

授業科目	単位		備考
	必修	選択	
生涯学習論	2		
図書館概論	2		
図書館制度・経営論	2		
図書館情報技術論	2		
図書館サービス概論	2		
情報サービス論	2		
児童サービス論	2		
情報サービス演習	2		
図書館情報資源概論	2		
情報資源組織論	2		
情報資源組織演習	2		
図書館基礎特論		1	
図書・図書館史		1	

#### 別表第五

〔教育カウンセラー支援科目〕

授業科目	単位		備考
	必修	選択	
教育相談(幼・小)		2	
教育心理学(幼・小)		2	

別表第六

〔上級ビジネス実務士資格〕

授業科目	単位		備考
	必修	選択	
ビジネス実務総論	2		
応用ビジネス実務論	2		
ビジネス実務演習	2		
ビジネス実務実践演習	2		
簿記演習		2	
会計演習		2	
社会調査の基礎		2	
販売論		2	
統計学の基礎		2	
英語・コミュニケーションⅠ		2	
英語・コミュニケーションⅡ		2	
情報サービス論		2	
情報サービス演習		2	
総合基礎演習Ⅰ		2	
総合基礎演習Ⅱ		2	
現代家政学演習Ⅰ		2	
現代家政学演習Ⅱ		2	
生活経営学		2	
現代企業論		2	
経営学総論		2	
世界の経済		2	
比較文化論		2	
国際理解		2	
こころの科学		2	
キャリア教育		2	

別表第七

〔社会教育主事任用資格〕

授業科目	単位		備考
	必修	選択	
生涯学習概論Ⅰ	2		
生涯学習概論Ⅱ	2		
社会教育計画Ⅰ	2		
社会教育計画Ⅱ	2		
社会教育演習Ⅰ	2		
社会教育演習Ⅱ	2		
現代社会と社会教育	2		
生涯学習論		2	} 2単位以上 } それぞれから2 単位以上、合計 10単位以上取 得
図書館概論		2	
図書館制度・経営論		2	
図書館情報資源概論		2	
ボランティア論		2	
教育原理(家庭・栄養)		2	
教育心理学(家庭・栄養)		2	
人間福祉論		2	

別表第八  
〔社会調査士〕

授業科目	単位		備考
	必修	選択	
社会調査の基礎	2		
消費者調査法	2		
データ解析	2		
統計学Ⅰ	2		
統計学Ⅱ	2		
社会調査実習Ⅰ	2		
社会調査実習Ⅱ	2		

別表第九  
〔フードスペシャリスト資格〕

授業科目	単位		備考
	必修	選択	
フードスペシャリスト論	2		
食品鑑別論	2		
食品の官能評価演習	1		
食の科学Ⅱ(食品学)	2		
食品加工学	2		
生活科学実験	1		
食品衛生学	2		
食の科学Ⅰ(調理学)	2		
食生活実習Ⅰ	1		
食生活実習Ⅱ	1		
栄養学	2		
消費科学	2		
フードコーディネータ論	2		
経営学総論		2	
現代企業論		2	

別表第十  
〔消費生活アドバイザー支援科目〕

授業科目	単位		備考
	必修	選択	
消費者行動論	2		
消費政策論	2		
消費者法	2		
消費者商品学	2		

別表第十一

[管理栄養士国家試験受験資格]

教育内容		授業科目	単位		備考	
			必修	選択		
専 門 基 礎 分 野	社会・健康と環境	公衆衛生学	2			
		健康管理学論	2			
		健康栄養概論	2			
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	解剖・生理学 I	2			
		解剖・生理学 II	2			
		解剖・生理学実驗	1			
		生化学	2			
		生化学実驗	1			
		栄養生化学	2			
		栄養生化学実驗	1			
		病理病態学 I	2			
		病理病態学 II	2			
		微生物学	2			
	微生物学実驗	1				
	食べ物と健康	調理学	2			
		調理学実習 I	1			
		調理学実驗	1			
		調理学実習 II	1			
		食品学 I	2			
		食品学 II	2			
		食品学実驗 I	1			
		食品学実驗 II	1			
		食品衛生学	2			
		食品衛生学実驗	1			
	専 門 分 野	栄養基礎	基礎栄養学	2		
			基礎栄養学実驗	1		
		応用栄養学	応用栄養学 I	2		
			応用栄養学 II	2		
			応用栄養学 III	2		
			応用栄養学実習	1		
栄養教育論		栄養教育論 I	2			
		栄養教育論 II	2			
		栄養教育論実習 I	1			
		栄養教育論 III	2			
		栄養教育論実習 II	1			
臨床栄養学		臨床栄養学 I	2			
		臨床栄養学 II	2			
		臨床栄養学実習 I	1			
		臨床栄養学 III	2			
		臨床栄養学 IV	2			
公衆栄養学		公衆栄養学 I	2			
		公衆栄養学 II	2			
		公衆栄養学実習	1			
給食経営管理論		給食経営管理論 I	2			
	給食経営管理論 II	2				
	給食経営管理実習	1				
演習	総合演習 I (管理栄養士)	1				
	総合演習 II (管理栄養士)	1				
臨地実習	給食経営管理臨地実習 I (給食の運営)	1		} 2科目中1科目選択必修		
	給食経営管理臨地実習 II		1			
	公衆栄養学臨地実習		1			
	臨床栄養学臨地実習 I	1				
		臨床栄養学臨地実習 II	1			

別表第十二  
〔栄養士資格〕

教育内容	授業科目	単位		備考
		必修	選択	
社会 生活と健康	健康管理論	2		
	公衆衛生学	2		
人体の構造と機能	解剖・生理学 I	2		
	生化学	2		
	栄養生化学	2		
	生化学実験	1		
	解剖・生理学実験	1		
	栄養生化学実験	1		
食品と衛生	病理病態学 I	2		
	食品学 I	2		
	食品学 II	2		
	食品学実験 I	1		
栄養と健康	食品衛生学	2		
	食品衛生学実験	1		
	健康栄養概論	2		
	基礎栄養学	2		
	基礎栄養学実験	1		
	応用栄養学 I	2		
栄養の指導	応用栄養学実習	1		
	臨床栄養学 I	2		
	臨床栄養学実習 I	1		
	臨床栄養学実習 II	1		
給食の運営	栄養教育論 I	2		
	栄養教育論 II	2		
	栄養教育論実習 I	1		
	栄養教育論実習 II	1		
	公衆栄養学 I	2		
	調理学	2		
給食の運営	調理学実験	1		
	調理学実習 I	1		
	調理学実習 II	1		
	給食経営管理論 I	2		
	給食経営管理実習	1		
	給食経営管理臨地実習 I (給食の運営)	1		